

newTON

Ver1.0

操作説明書 1.0 版



株式会社 カルテック

***** 目次 *****

使用上の注意・特記	2
1. 起動アイコン	3
2. 起動画面	3
3. 工事一覧選択画面	4
4. 製品データ入力画面	10
5. 鋼材名称画面	17
6. 一般鋼材画面	18
7. 規格名称画面	19
8. 鋼材別使用規格画面	20
9. 部位名称画面	21
10. インポート	22

使用上の注意

対象とするOSは Microsoft 社製 Windows XP、Windows 2000、Windows Vista
とします。

但し、メモリについては WindowsXP を使用時には 512 MBYTE 以上
Windows Vista を使用時には 1GBYTE 以上として下さい。

パソコンの解像度を 1024 × 768 以上として下さい。

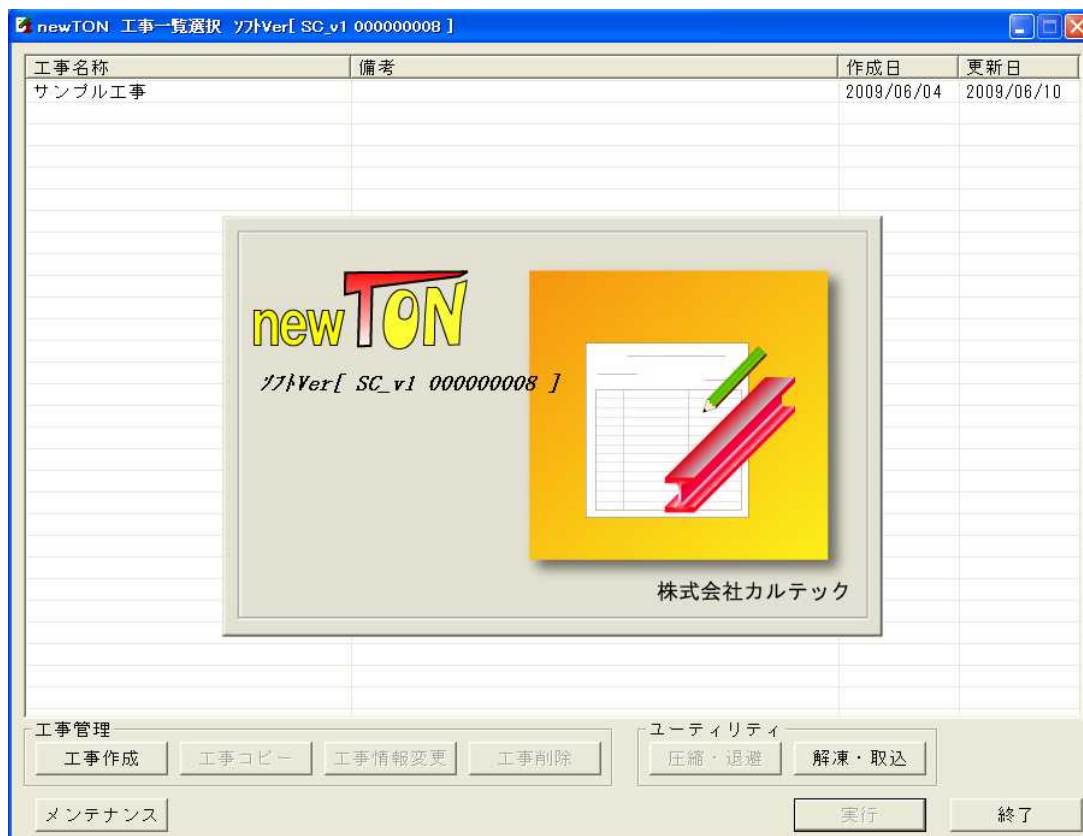
1. 起動アイコン

newTONのアイコンをマウスクリックします。



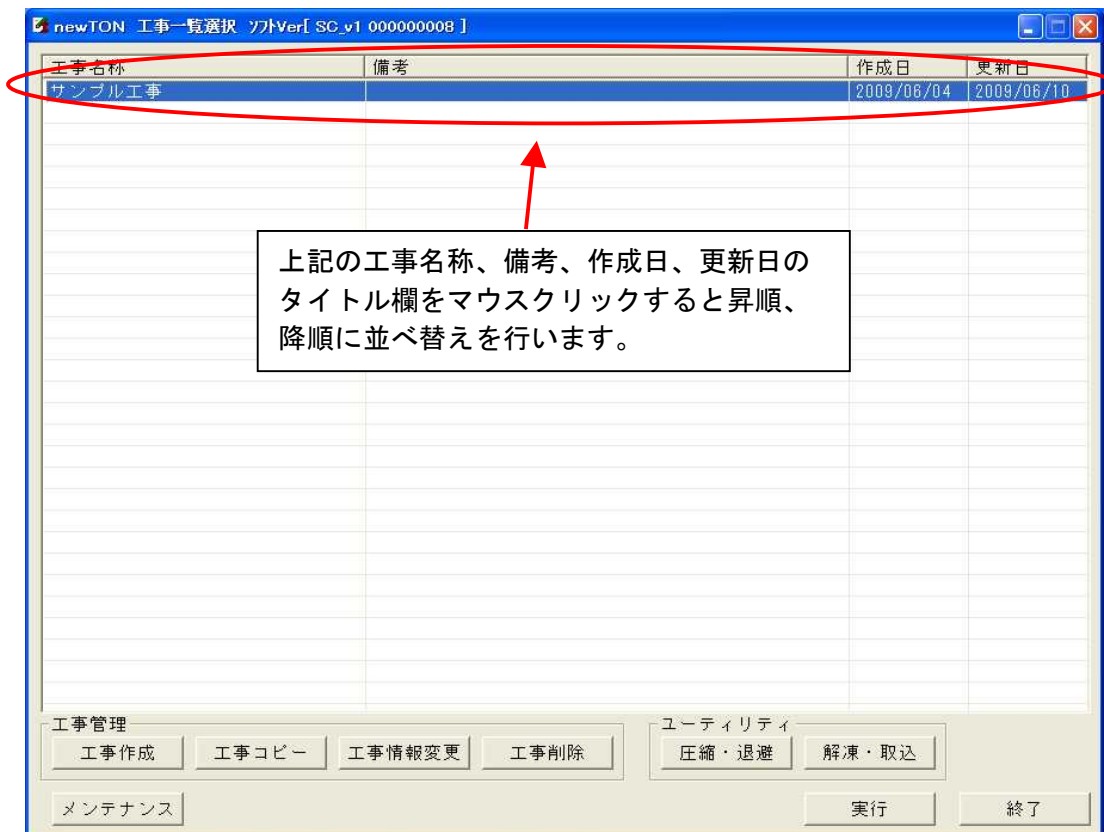
2. 起動画面

アイコンをマウスクリックすると、下記の起動画面を表示し、メインメニュー画面のみが画面上に残ります。



3. 工事一覧選択画面

工事一覧選択画面を以下の様に表示します。



工事作成ボタン

工事作成 ボタンを押すと新規工事を入力することができます。

A. 工事名称

工事名称を半角30文字以内で入力して下さい。
工事名称は先頭、または末尾のスペース（全角、半角とも）は許しません。

B. 備考

備考を半角80文字以内で入力して下さい。

C. 工区

工区を半角30文字以内で入力して下さい。

追加 ボタンを押すと選択中の工区内へ新しい工区を追加します。

削除 ボタンを押すと選択中の工区を削除します。

名称変更 ボタンを押すと選択工区の名称を変更します。

情報を入力後、**OK** ボタンを押すと製品データ入力画面を表示します。

キャンセル ボタンを押すと工事一覧選択画面に戻ります。

工事コピーボタン

既存工事をコピーして新規工事を作成したい時には 工事コピー ボタンを押して下さい。
このボタンを押すと下記の画面を表示しますから、新しい工事名称を半角30文字以内で入力して下さい。

工事名称を入力後、**OK** ボタンを押すと製品データ入力画面を表示します。

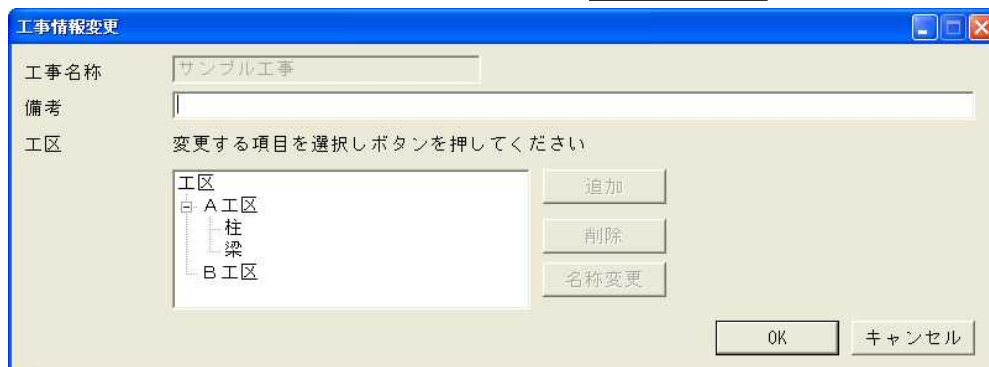
その時、入力した工事名称が、既に存在している時には下記のエラーメッセージを表示します。



OK ボタンで再度の入力に戻ります。

工事情報変更ボタン

情報変更したい工事を一覧よりマウス選択して **工事情報変更** ボタンを押して下さい。



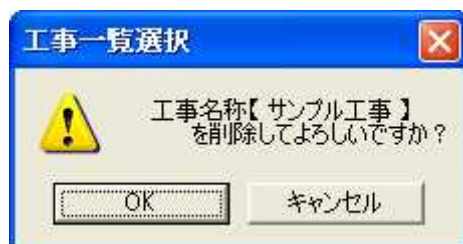
OK ボタンで情報を変更し 工事一覧選択画面に戻ります。

キャンセル ボタンで情報を変更せずに 工事一覧選択画面に戻ります。

工事削除ボタン

削除したい工事を一覧よりマウス選択して **工事削除** ボタンを押して下さい。

工事削除 ボタンを押すと削除を確認する下記のメッセージを表示します。



OK ボタンで対象データを削除して 工事一覧選択画面に戻ります。

キャンセル ボタンで対象データを削除せずに 工事一覧選択画面に戻ります。

圧縮・退避ボタン

圧縮・退避 ボタンを押すと下記の画面を表示します。



退避するフォルダを指定して下さい。

OK ボタンを押すと選択した工事データを圧縮・退避した後、工事一覧選択画面に戻ります。

圧縮ファイルの名称は **SC_工事名称.lzh** となります。

キャンセル ボタンを押すと、工事一覧選択画面に戻ります。

解凍・取込ボタン

解凍・取込 ボタンを押すと下記の画面を表示します。



取込・圧縮退避したファイルを格納したフォルダを指定して下さい。

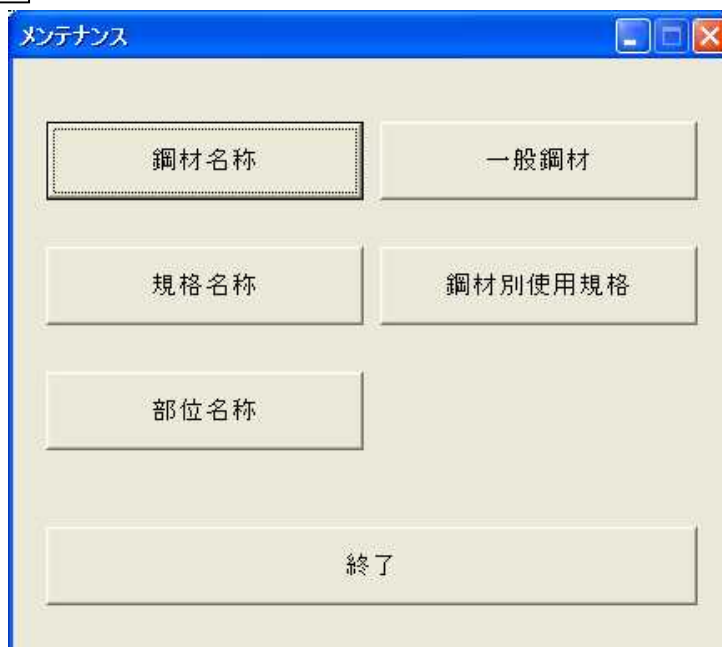
圧縮・退避したファイルをマウス選択して下さい。

開く ボタンを押すと、圧縮・退避したファイルよりデータの解凍・取込を行い、取込が完了すると、**工事一覧選択画面**に戻ります。

キャンセル ボタンを押すと、**工事一覧選択画面**に戻ります。

メンテナンスボタン

メンテナンス ボタンを押すと下記の画面を表示します。



メンテナンス（5章、6章、7章、8章、9章を参照して下さい。）

鋼材名称・・・各種鋼材の名称を追加、変更、削除ができます。

一般鋼材・・・各種鋼材のサイズを追加、変更、削除ができます。

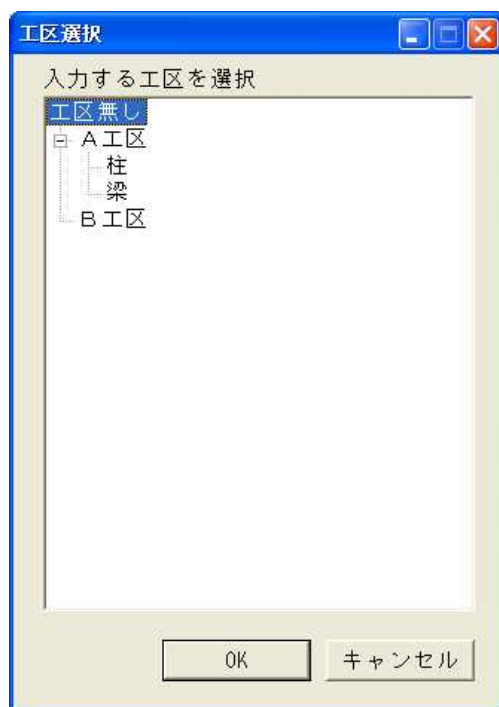
規格名称・・・各種規格の名称を追加、変更、削除ができます。

鋼材別使用規格・・・鋼材別に使用する規格を設定できます。

部位名称・・・部位名称の追加、変更、削除ができます。

実行ボタン

工事一覧よりマウス選択して、**実行** ボタンを押すと既存工事を編集することができます。
実行 ボタンを押すと製品データ入力画面を表示します。
また、工事を選択後、マウスダブルクリックで **実行** ボタンと同じ動作を行います。
複数の工区を登録しておくことと下記の選択画面を表示します。



OK ボタンで対象工区の製品データ入力画面を表示します。

キャンセル ボタンで工事一覧選択画面に戻ります。

終了ボタン

本システムを終了する場合は **終了** ボタンを押して下さい。

4. 製品データ入力画面

工事一覧選択画面より工事を選択すると下記の製品データ入力画面を表示します。

各列のタイトル欄をマウスクリックすると並び替えを行います。

階	部位	品番	鋼材	サイズ	規格	長さ(m)	本数	単重(kg/m)	重量(kg)	単価	
1		100/100	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
2		-100/-100	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
3		100/0	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
4		0/100	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
5		-100/0	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
6		0/-100	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
7		0/0	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	1	36.700	0.1	
8	2	4 - 大梁	RG1-1	1 - H形鋼	300x150x6.5x9						
9	2		RG1-2	1 - H形鋼	300x150x6.5x9						
10	3	4 - 大梁	ZG1-1	1 - H形鋼	400x200x8x13	1 - SS400	3.3	3	65.400	0.6	
11	3		ZG1-2	1 - H形鋼	400x200x8x13	1 - SS400	0.85	10	36.700	0.3	
12	2	3 - プラケット	BK1	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400	0.85	10	36.700	0.3	
13	2		BK3	1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400	0.95	6	65.400	0.4	
14	3	3 - プラケット	BK2	1 - H形鋼	400x200x8x13	1 - SS400	0.95	6	65.400	0.4	
15	3		BK4	1 - H形鋼	400x200x8x13	1 - SS400	0.95	6	65.400	0.4	
16	1	1 - 柱	IC1	5 - 角形鋼管	300x300x6	1 - STKR400	2.8	6	54.400	0.9	
17	1		IC2	5 - 角形鋼管	300x300x6	1 - STKR400	2.8	6	54.400	0.9	
18	2	1 - 柱	IC1	5 - 角形鋼管	300x300x6	1 - STKR400	0.28	6	54.400	0.1	
19	2		IC2	5 - 角形鋼管	300x300x6	1 - STKR400	0.28	6	54.400	0.1	
20				1 - H形鋼	300x150x6.5x9	1 - SS400		3	20	36.700	2.2
21											

階を入力 (略可: 英数/記号/ｶﾀｶﾅ/漢字 4桁)

階

階を半角4文字以内で入力して下さい。

部位

部位をメニューより選択して下さい。

品番

品番を半角18文字以内で入力して下さい。

但し、全角文字、半角英数、半角ｶﾀｶﾅ、半角ｽﾍﾞｰｽ、

半角記号 (. + - # \$ % * : ; = ? ' / & () _)

→、←、↑、↓のみ入力可とし、末尾の半角ｽﾍﾞｰｽは入力不可とします。

鋼材

鋼材をメニューより選択して下さい。

- 対象となる鋼材と入力コードは下記の通りとします。

H形鋼	1
SH形鋼	2
CT形鋼	3
BH形鋼	4
角形鋼管	5
鋼管	6
溝形鋼	7
山形鋼	8
山形鋼 2 枚合	9
軽量リップ溝形鋼	10
軽量リップ背中	11
軽量リップ抱合	12
軽量溝形鋼	13
平鋼	14
PL	15
異形鉄筋	19
丸鋼	20
I形鋼	29
BT形鋼	41
2溝形鋼	42
軽量2溝形鋼	43

サイズ

サイズをメニューより選択して下さい。

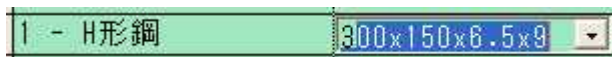
補足.

鋼材サイズの入力について

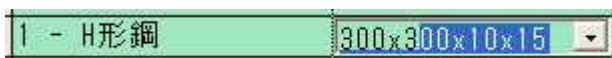
- 鋼材コードを入力します。Enter キーもしくは Tab キーでサイズ欄へ移動します。



- サイズ欄で 3 を入力すると 3 で始まるマスターデータの鋼材サイズを表示します。



- 次の数値サイズを入力したければ→キーで変更したい数値のところへ移動させて数値入力して下さい。この時、←キーで前へ移動します。



x を入力する箇所でも / * - + のいずれかを入力しても、x に変換します。
また、↑ ↓ キーでもマスター登録しているデータを順に表示します。

編集メニュー

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し(B)	Ctrl+R
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
行挿入(I)	Ctrl+I
行削除(D)	Ctrl+D
✓ Enter Keyでの複写(E)	
メートル入力(M)	

Enter Keyでの複写

未入力で Enter を押すと上行の値をコピーします。

メートル入力

メートル単位で入力することができます。

表示メニュー

✓ ツール バー(T)
✓ ステータス バー(S)
階入力を省略する(K)
部位入力を省略する(B)
品番入力を省略する(N)
単価入力を省略する(G)

階入力を省略する

階項目を入力不可とし入力を飛ばすことができます。

部位入力を省略する

部位項目を入力不可とし入力を飛ばすことができます。

品番入力を省略する

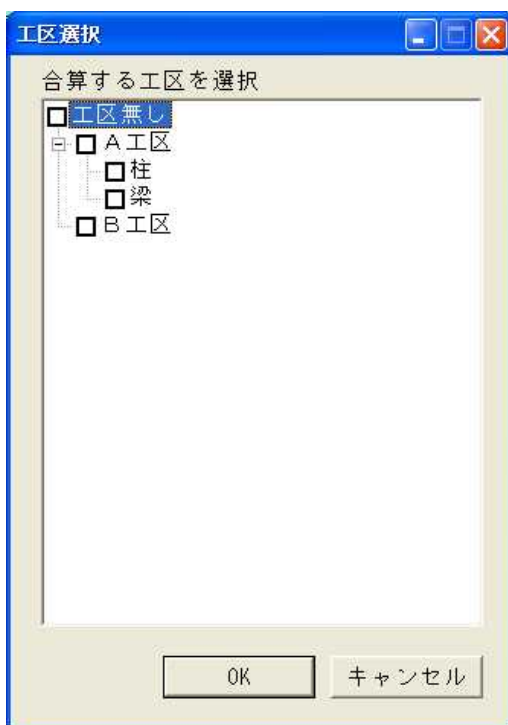
品番項目を入力不可とし入力を飛ばすことができます。

単価入力を省略する

単価項目を入力不可とし入力を飛ばすことができます。

集計印刷ボタン

複数工区を入力していると下記の画面を表示します。
入力中の工区以外に合算する工区があればチェックを付けます。



OK ボタンで対象工区の集計をします。

キャンセル ボタンで製品データ入力画面に戻ります。

集計が終了すると下記の画面を表示します。

帳票出力

製品集計表 2009/02/23 16:38:41 Page 1

工事No[sample]] 工事名[サンプル工事]]
備考[]]

鋼材寸法	規格	長さ(mm)	本数	重量(t)	重量合計(t)
H-300x150x6.5x8	SS400	850.0	10	0.312	0.826
		2,800.0	5	0.514	
H-400x200x8x13	SS400	950.0	6	0.373	1.020
		3,300.0	3	0.647	
□-300x200x12	STKR400	280.0	6	0.146	1.604
		2,800.0	6	1.458	
				総合計(t)	3.450

[改頁]

鋼材別集計 **A** 階別集計 **B** 部位別集計 **C**

前ページ **D** 次ページ **E** 印刷 **F** ファイル出力 **G** 閉じる **H**

A. 鋼材別集計、B. 階別集計、C. 部位別集計

表示する帳票を切り替えます。

D. 前ページ、E. 次ページ

表示中の帳票のページを切り替えます。

F. 印刷

印刷 ボタンを押すと下記のような印刷画面を表示します。
(詳細は付録 図面印刷用プレビュー画面を参照して下さい。)

帳票印刷 - 製品集計表

印刷(P)... プレビュー フォント設定 フォントマージン 設定保存 終了 1 / 1 ▲前 次▼

製品集計表 2009/02/23 16:38:41 Page 1

工事No[sample]] 工事名[サンプル工事]]
備考[]]

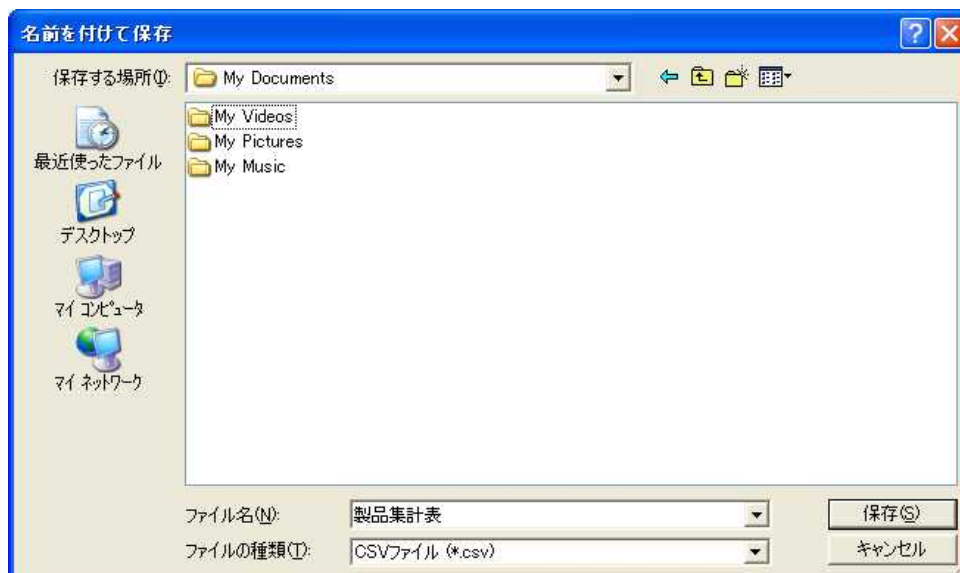
鋼材寸法	規格	長さ(mm)	本数	重量(t)	重量合計(t)
H-300x150x6.5x8	SS400	850.0	10	0.312	0.826
		2,800.0	5	0.514	
H-400x200x8x13	SS400	950.0	6	0.373	1.020
		3,300.0	3	0.647	
□-300x200x12	STKR400	280.0	6	0.146	1.604
		2,800.0	6	1.458	
				総合計(t)	3.450

[改頁]

印刷する場合は **印刷** ボタンを押して下さい。

G. ファイル出力

ファイル出力 ボタンを押すと下記の画面を表示します。
保存先とファイル名を指定してください。
ファイル名にページ番号を付け加えます。



帳票はCSV形式で出力します。

H. 閉じる

このボタンを押すと製品データ入力画面に戻ります。

5. 鋼材名称画面

鋼材名称 ボタンを押すと下記の画面を表示します。



The screenshot shows a software window titled '鋼材名称マスター - C:\Program Files\newTON\Master\材料名称マスター.mdb'. The window contains a table with two columns: '鋼材名称' (Steel Name) and '鋼材略称' (Steel Abbreviation). The table lists 21 different types of steel and their corresponding abbreviations. The window also features a menu bar with 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', and '設定(S)', and a toolbar with various icons. A 'NUM' button is visible at the bottom right of the window.

	鋼材名称	鋼材略称
1	H形鋼	H
2	SH形鋼	SH
3	CT形鋼	CT
4	BH形鋼	BH
5	角形鋼管	□
6	鋼管	○
7	溝形鋼	溝
8	山形鋼	L
9	山形鋼2枚合	2L
10	軽量リッパ溝形	C
11	軽量リッパ背中	JL
12	軽量リッパ抱合	[]
13	軽量溝形鋼	LC
14	平鋼	FB
15	プレート	PL
16	異形鉄筋	DBAR
17	丸鋼	RBAR
18	I形鋼	I
19	BT形鋼	BT
20	溝形鋼背中	2溝
21	軽量溝背中	2LC

鋼材名称を編集し保存して下さい。

6. 一般鋼材画面

一般鋼材 ボタンを押すと下記の画面を表示します。

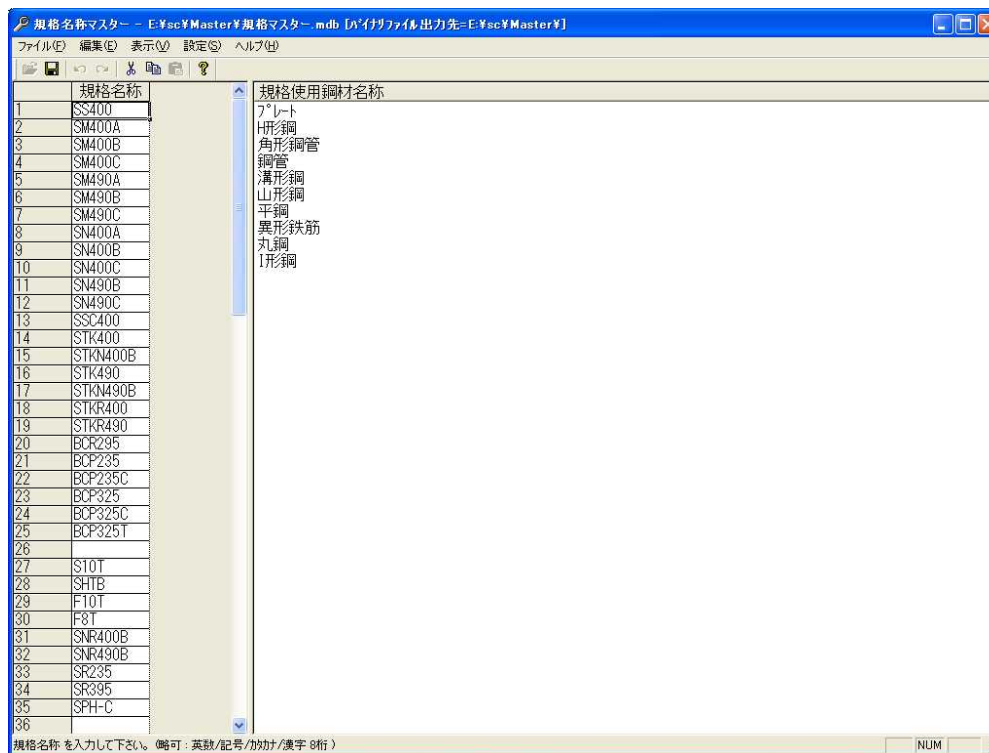
The screenshot shows a software window titled '一般鋼材マスター' (General Steel Master). On the left is a tree view with categories like 'H形鋼' (I-beam), 'C形鋼' (Channel), '角形鋼管' (Square pipe), '鋼管' (Pipe), '山形鋼' (Z-pipe), '軽量山形鋼' (Lightweight Z-pipe), '半鋼' (Half-steel), '丸鋼' (Round steel), '異形鉄筋' (Reinforcing bar), and '形鋼' (Steel). The main area contains a table with columns: H, B, t1, t2, r1, 単重 (Unit weight), and 使用 (Use). Below the table is a diagram of an I-beam cross-section with dimensions H, B, t1, t2, and r1. The unit weight is noted as '単位重量 = kg/m'.

	H	B	t1	t2	r1	単重	使用
1	100	50	5	7	8	9.3	1
2	100	100	6	8	8	16.9	1
3	125	60	6	8	8	13.1	1
4	125	125	6.5	9	8	23.6	1
5	148	100	6	9	8	20.7	1
6	150	75	3.2	4.5	8	10	1
7	150	75	5	7	8	14	1
8	150	100	3.2	4.5	8	10.8	1
9	150	150	7	10	8	31.1	1
10	175	90	5	8	8	18	1
11	175	175	7.5	11	13	40.4	1
12	194	150	6	9	8	29.9	1
13	198	99	4.5	7	8	17.8	1
14	200	100	5.5	8	8	20.9	1
15	200	200	8	12	13	49.9	1
16	200	204	12	12	13	56.2	1
17	208	202	10	16	13	65.7	1
18	244	175	7	11	13	43.6	1
19	244	252	11	11	13	63.8	1
20	244	275	7	11	13	43.6	1
21	248	124	5	8	8	25.1	1
22	248	249	8	13	13	65.9	1
23	250	125	6	9	8	29	1
24	250	250	9	14	13	71.8	1
25	250	255	14	14	13	81.6	1
26	294	200	8	12	13	55.8	1
27	294	200	9	14	13	63.9	1
28	294	302	12	12	13	83.4	1
29	298	149	5.5	8	13	32	1
30	298	201	9	14	13	64.4	1
31	298	299	9	14	13	86	1
32	300	150	6.5	9	13	36.7	1
33	300	300	10	15	13	93	1
34	300	305	15	15	13	105	1
35	304	301	11	17	13	105	1

各鋼材のサイズを追加、編集、削除し保存して下さい。

7. 規格名称画面

規格名称 ボタンを押すと下記の画面を表示します。



必要な規格文字を入力し保存して下さい。

8. 鋼材別使用規格画面

鋼材別使用規格 ボタンを押すと下記の画面を表示します。

	鋼材名称	リスト1		リスト2		リスト3		リスト4	
		コード	規格名称	コード	規格名称	コード	規格名称	コード	規格名称
15	7-lead	1	SS400	2	8 - SN400A	3	9 - SN400B	4	11 - SM490B
1	H形鋼	1	SS400	2	8 - SN400A	3	9 - SN400B	4	11 - SM490B
5	角形鋼管	18	STKR400	2	20 - BCR295	3	21 - BCP235	4	23 - BCP235
6	鋼管	14	STK400			3	15 - STKN400B	4	17 - STKN491
7	溝形鋼	1	SS400	2	8 - SN400A	3	9 - SN400B	4	11 - SM490B
8	山形鋼	1	SS400	2	8 - SN400A	3	9 - SN400B	4	11 - SM490B
13	軽量溝形鋼	13	SSC400						
14	平鋼	1	SS400	2	8 - SN400A	3	9 - SN400B	4	11 - SM490B
19	異形鉄筋	1	SS400						
20	丸鋼	32	SNR490B	2	31 - SNR400B	3	1 - SS400	4	33 - SR235
29	I形鋼	1	SS400						

鋼材毎に使う規格を設定し保存して下さい。

9. 部位名称画面

部位名称 ボタンを押すと下記の画面を表示します。



部位名称を設定し保存して下さい。

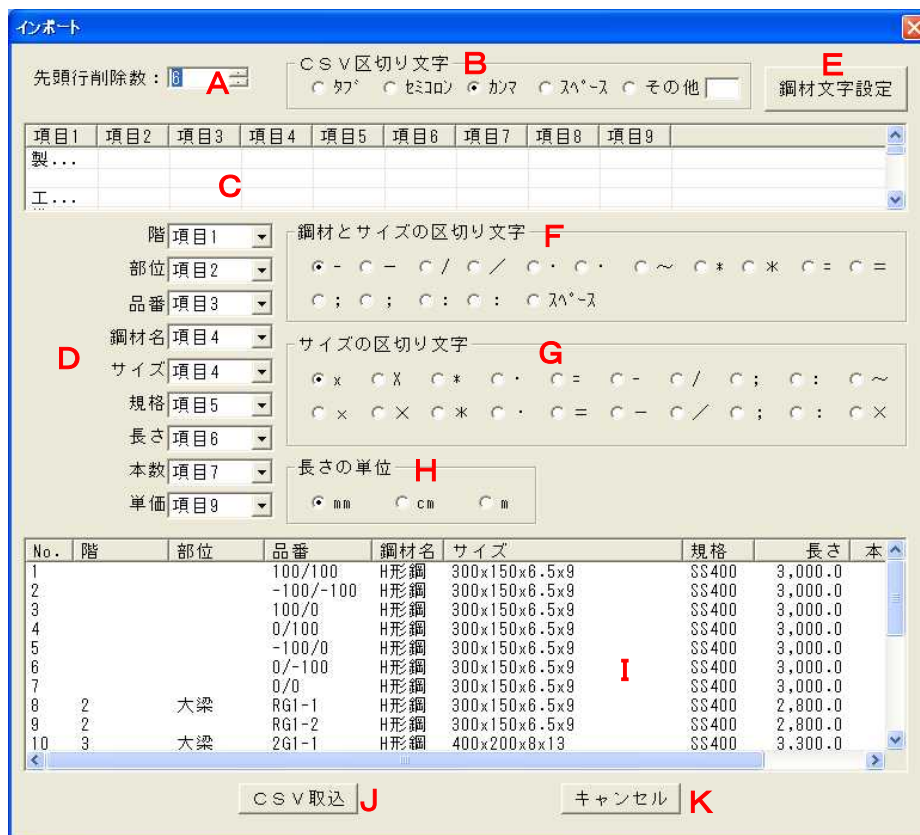
10. インポート

- 製品データ入力画面の [ファイル] - [インポート] を選択すると下記の画面を表示します。



CSVと尺取虫データファイルが読み込み可能です。

- CSVを選択すると下記のCSV取り込み画面を表示します。



A. 先頭行削除数

ファイルの読み飛ばす行数を入力します。
ファイルの先頭にタイトルがある場合に使用します。

B. CSV区切り文字

CSVファイルの列を区切っている文字を選択します。
一覧にない場合は「その他」を選択し横の項目へ区切り文字を入力して下さい。

C. ファイルリスト

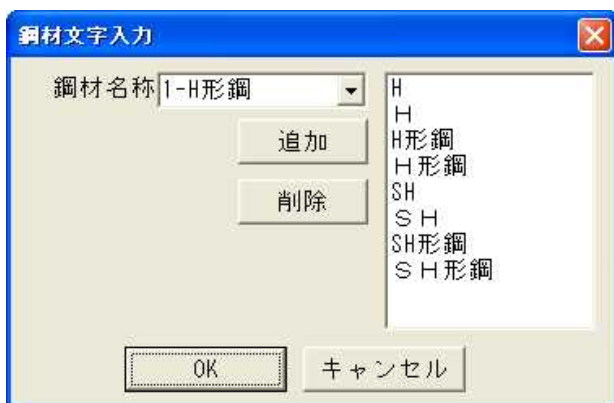
CSV区切り文字により切り取った文字を列毎に表示します。

D. 項目選択

各項目に対応するファイルリストの列を入力します。

E. 鋼材文字設定

鋼材文字設定 ボタンを押すと下記の画面を表示します。



取り込む鋼材を選択しCSVファイル内にある文字列を追加してください。

F. 鋼材とサイズの区切り文字

ファイルリストが「H 300x150x6.5x9」のように鋼材名とサイズが分かれいない場合に使用します。

G. サイズの区切り文字

鋼材サイズを区切っている文字を選択します。

H. 長さの単位

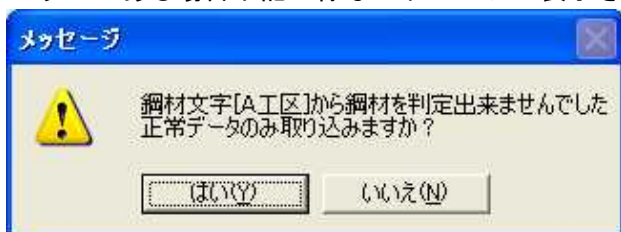
長さの単位を選択します。

I. 取り込み情報リスト

取り込み対象の文字列を表示します。

J. CSV取込

CSV取込 ボタンで取り込み文字のチェックを行います。
エラーがある場合下記のようなメッセージが表示されます。



はい を押すとエラーの無い行のみ取りこみ、**いいえ** を押した場合
CSV取り込み画面に戻ります。

(エラー行は行番号に“x”を赤表示します)

K. キャンセル

終了 ボタンで無条件に元との製品データ一覧画面に戻ります。

- データをとり込みます。

ファイル読み込み中にリスト数を超える場合
下記のメッセージが表示され取り込みは行われません。

